

施策の進捗管理シート

令和 2 年度

総合計画 体系	分野	3	第3章	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	施策統括課	高齢福祉課
	施策No.	15	施策名	住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	課長名 (施策統括責任)	川副 光行
	関係課	保険年金課、高齢福祉課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	高齢者は、介護状態にならないように予防に努めながら、生きがいを持つことや社会参加をすることなどによって、住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしている。
取組方針	高齢者が生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするため、高齢者の生活支援を推進するとともに、医療と介護の連携を進め、支援の担い手育成など地域で支える体制を整えます。また、介護状態にならずにいきいきと過ごせるように、健康づくりや介護予防を推進し、生きがいづくりの機会や社会参加の場づくりに取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象 (誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	65歳以上の高齢者						
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)	高齢者が健康で自立した生活をできるだけ長く続けること、そして、たとえ介護を必要とする状態になっても、その人らしい生活を自分の意思で可能とすることで、高齢者が尊厳ある暮らしを維持できるようにする。						
成果指標 A							単位
自分らしくいきいき生活している高齢者の割合							%
H25 基準	H27 計画実績	H28 計画実績	H29 計画実績	H30 計画実績	R01 計画実績	R06 目標	
65.4	67.2 65.8	68.1 66.1	69.0 70.9	69.9 71.0	70.8 75.2	75.0	
成果指標 B							単位
要介護 (要支援を含む) 認定を受けている人の割合							%
H25 基準	H27 計画実績	H28 計画実績	H29 計画実績	H30 計画実績	R01 計画実績	R06 目標	
19.7	20.1 20.3	20.3 20.1	20.5 20.2	20.7 20.3	20.9 20.0	22.0	

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	54.1%	51.3%	↓
ある程度重要である	37.4%	39.2%	↑
あまり重要ではない	3.1%	2.6%	↓
重要ではない	0.8%	0.4%	↓
順位	8/36位	9/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.8%	5.1%	↑
どちらかといえば満足	46.6%	46.7%	↑
どちらかといえば不満	29.2%	26.3%	↓
不満である	5.5%	5.5%	→
順位	16/36位	15/36位	↑